

令和3年度水稻新品種「粒すけ」現地検討会を開催！

～新たな品種の導入による水稻の経営発展を目指して～

香取農業事務所改良普及課 令和3年8月27日発

農業事務所では、「粒すけ」の収量向上に向けた栽培管理について理解を深めることを目的として、8月4日にJAかとりと共催で香取市木内の展示ほ場を会場に水稻新品種「粒すけ」現地検討会を開催したところ、生産者、肥料メーカー、関係機関等約40名の参加がありました。農林総合研究センターより品種特性や多収に向けた栽培管理について、農業事務所より展示ほの生育状況について説明し、ほ場の生育を確認しました。参加した生産者からは、「自分のほ場と比較できて参考になった」、「施肥設計の大切さを学ぶことができた」、「専用一発肥料を作ってほしい」などの声がありました。今年度はJAやメーカーと連携して「粒すけ」一発肥料の試験にも取り組んでおり、収量結果について改めて情報提供を行う予定です。

農業事務所では、関係機関と連携しながら、引き続き「粒すけ」の普及拡大、水稻農家の経営発展に向けた支援を行っていきます。



現地検討会の様子



農業事務所より生育状況を説明